



副所長・評議員

田中成明 (たなか しげあき) TANAKA, Shigeaki

生 年：1942年（昭和17年）

専攻分野：法哲学

学 歴

1964年 3月 京都大学 法学部卒業
1980年 3月 京都大学 法学博士

職 歴

1964年 4月 京都大学法学部助手
1967年 4月 京都大学法学部助教授
1978年 3月 京都大学法学部教授(法理学講座)
1991年 4月～1993年 4月 京都大学評議員
1992年 4月 京都大学大学院法学研究科教授(組織変更による配置換え)
1997年 4月～1999年 3月 京都大学大学院法学研究科長・法学部長・評議員
1999年 4月～2004年 9月 放送大学客員教授(非常勤)
2002年 2月～2003年 3月 大学評価・学位授与機構研究評価部教授(併任)
2004年 4月～2005年 9月 国立大学法人京都大学理事・副学長
2005年 4月 京都大学名誉教授
2005年10月～2010年 3月 関西学院大学大学院司法研究科教授
2009年 4月 財団法人国際高等研究所 副所長 ～ 現在に至る

主 な 兼 職

1993年11月～1997年11月 日本法哲学会理事長
2001年 3月～2004年10月 総合科学技術会議・生命倫理専門調査会専門委員
2001年12月～2004年11月 司法制度改革推進本部・法曹養成検討 会座長、同法曹制度検討会委員
2002年 5月～2008年 3月 大学設置・学校法人審議会大学設置分科会特別委員
2004年 4月～2006年 4月 日本学術振興会・21世紀COEプログラム委員会委員
2004年 4月～現在 大学評価・学位授与機構・法科大学院認証評価委員会副委員長
2005年 3月～2008年 3月 法科大学院協会副理事長
2005年10月～現在 日本学術会議会員(第1部)
2005年 6月～現在 中央教育審議会大学分科会法科大学院特別委員会座長

学会活動等

日本法哲学会会員、日本法社会学会会員
日独法学会会員、日米法学会会員

主 な 著 書

『裁判をめぐる法と政治』(有斐閣、1979年)
『現代法哲学』(全3巻)(共編)(東京大学出版会、1983年)
『現代法理論』(有斐閣、1984年)
『現代日本法の構図』(筑摩書房、1987年)
『法的思考とはどのようなものか』(有斐閣、1989年)
『法の考え方と使い方 現代法の役割』(大蔵省印刷局、1990年)
『法的空間—強制と合意の狭間で—』(東京大学出版会、1993年)
『法理学講義』(有斐閣、1994年)
『現代社会と裁判—民事訴訟の位置と役割』(弘文堂、1996年)
『岩波講座 現代の法』(全15巻)(共編)(岩波書店、1997年)
『法学入門—法と現代社会』(放送大学教育振興会、2000年)
『転換期の日本法』(岩波書店、2000年)
『現代法の展望—自己決定の諸相』(編著)(有斐閣、2004年)
『法曹倫理』(共編)(有斐閣、2004年)
『法学入門』(有斐閣、2005年)
『法への視座転換をめざして』(有斐閣、2006年)
『国際比較からみた日本社会における自己決定と合意形成(高等研報告書)』(国際高等研究所、2007年)